令和 2 年 度

八代市議会建設環境委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 12月定例会付託案件	1
1. 所管事務調査	13
-

令和 2 年 1 2 月 1 4 日 (月曜日)

建設環境委員会会議録

令和2年12月14日 月曜日

午前10時00分開議

午前11時30分閉議（実時間78分）

○本日の会議に付した案件

1. 議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算・第12号（関係分）
1. 議案第122号・令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第2号
1. 議案第124号・契約の締結について
1. 議案第131号・八代市公共下水道事業（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正について
1. 所管事務調査
  - ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
  - ・生活環境に関する諸問題の調査（下水道主要事業の契約締結と進捗状況について）

○本日の会議に出席した者

委員長	増田一喜君
副委員長	北園武広君
委員	大倉裕一君
委員	庄野末藏君
委員	高山正夫君
委員	橋本隆一君
委員	福嶋安徳君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

建設部長 潮崎 勝君

建設部総括審議員
兼次長 田村 伸司君

土木課長 小原 聖児君

都市整備課長 一美 晋策君

下水道総務課長 奥村 勝己君

下水道建設課長 涌田 直美君

新庁舎建設課長 豊田 浩市郎君

新庁舎建設課
新庁舎建設係参事 荒田 政敏君

財務部

契約検査課長 岩瀬 隆敏君

○記録担当書記 勇 正一君

（午前10時00分 開会）

○委員長（増田一喜君） おはようございます。

（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

それでは、定刻となり、定足数に達しましたので、ただいまから建設環境委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配付してあります付託表のとおりであります。

○議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算・第12号（関係分）

○委員長（増田一喜君） それでは、最初に予算議案の審査に入ります。

議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算・第12号中、当委員会関係分についてを議題とし、説明を求めます。

歳出の第7款・土木費及び第10款・災害復旧費について、建設部より説明願います。

○建設部長（潮崎 勝君） 皆さん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）建設部の潮崎です。

それでは、本委員会に付託されました議案のうち、議案第114号・令和2年度八代市一般

会計補正予算・第12号の建設部所管分につきまして、田村総括審議員より説明いたさせますので、よろしくお願いいたします。

○建設部総括審議員兼次長（田村伸司君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）建設部の田村でございます。よろしくお願いいたします。

着座にて説明させていただいてよろしいでしょうか。

○委員長（増田一喜君） はい、どうぞ。

○建設部総括審議員兼次長（田村伸司君） それでは、お手元の議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算書・第12号をお願いいたします。

3ページをお開きください。

第1表・歳入歳出予算補正のうち、歳出について御説明いたします。

款7・土木費を800万円増額補正し、補正後の額は50億261万3000円としております。

その内訳は、項3・河川費を600万円増額、項5・都市計画費を200万円増額するものでございます。

続きまして、4ページをお開きください。

款10・災害復旧費を4億3222万1000円増額補正し、補正後の額は84億3563万2000円としております。

そのうち、建設部所管分として、項2・公共土木施設災害復旧費を3874万8000円増額補正するものでございます。

次に、詳細を御説明いたします。

21ページをお開きいただきまして、一番下の表を御覧ください。

款7・土木費、項3・河川費、目1・河川費は、補正額600万円を加えて9236万9000円としております。

補正額の財源内訳につきましては、県支出金が600万円でございます。

補正額の内訳は、節18・負担金補助及び交付金を600万円増額するものでございます。

内訳は、表の右、説明欄に記載しております土砂災害危険住宅移転促進事業でございます。

この事業は、建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある土砂災害特別警戒区域、通称レッドゾーン内に居住されている方が、土砂災害のおそれがある土砂災害警戒区域、通称イエローゾーンとレッドゾーン以外の安全な地域へ移転を促進するため、移転を行う方に対して費用の一部を補助するものでございます。

今回は、当初予算計上の1件に対して3件の申請済みもしくは予定があり、2件分を補正するものでございます。

別冊の建設環境委員会資料、議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算・第12号、建設部所管分を併せて御覧ください。

河川費の土砂災害危険住宅移転促進事業は、1ページと2ページになります。

1ページは事業の概要などを示したもので、補助内容といたしましては、移転先住宅の建設・購入費、リフォーム費、移転経費などで、補助の上限は1件当たり最高300万円となっております。ちょうど1ページの右下のほうに書いてございます。

2ページは、めくっていただきまして2ページですけど、先月5日、11月5日に行っております令和2年7月豪雨の被災者の支援拡大を含めました土砂災害危険住宅移転促進事業補助金交付要綱の改正のお知らせとなっております。

それでは、予算書に戻っていただきまして、めくっていただいて22ページ、一番上の表を御覧ください。

款7・土木費、項5・都市計画費、目2・街路事業費は、補正額200万円を加えて1億7541万2000円としております。

補正額の財源内訳につきましては、地方債が190万円、一般財源が10万円でございます。

補正額の内訳は、節18・負担金補助及び交付金を200万円増額するものでございます。

内容は、表の右、説明欄に記載しております南部幹線道路整備事業でございます。

この事業は、八代港や中心市街地と南九州西回り自動車道八代南インターチェンジ及び国道3号を結ぶ全長5630メートルの都市計画道路である南部幹線の整備につきまして、県施工区間の事業実施に伴い、負担金を支出するものです。

今回、用地補償に関わる建物調査の結果や移転工法の見直しにより事業費が増額となったことを受け、本市の負担金の増額分を補正するものでございます。

別冊の建設環境委員会資料を併せて御覧ください。

街路事業費の南部幹線道路整備事業は3ページと4ページになっております。

3ページは位置図等を示しております。

4ページのほうはですね、用地の進捗図を表しております。

それでは、予算書に戻っていただきまして、23ページ、一番下の表を御覧ください。

款10・災害復旧費、項2・公共土木施設災害復旧費、目1・道路橋梁施設災害復旧費は、補正額3874万8000円を加えて64億848万5000円としております。

補正額の財源内訳につきましては、地方債が3870万円、一般財源が4万8000円でございます。

補正額の内訳は、節18・負担金補助及び交付金を3874万8000円増額するものでございます。

内容は、表の右、説明欄に記載しております令和2年7月豪雨災害復旧事業市道鎌瀬・瀬戸石線等2路線でございます。

この事業は、令和2年7月豪雨により被災しました市道鎌瀬・瀬戸石線と瀬戸石・高田辺線

の2路線につきまして、国土交通省の権限代行による災害復旧事業に関わる負担金を支出するものでございます。

今回の補正分は、応急復旧工事と調査設計となっております。

別冊の建設環境委員会資料を併せて御覧ください。

道路橋梁施設災害復旧費の令和2年7月豪雨災害復旧事業は5ページと6ページになっております。

5ページは2路線の事業規模、全体事業費などを示しております。

最後、6ページはですね、位置図と被災状況の写真を示したのになっております。

以上、議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算・第12号のうち、本委員会に付託されました建設部所管分についての説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○委員長（増田一喜君） それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（橋本隆一君） レッドゾーンについてですね、お尋ねしたいんですが、かねてよりこのレッドゾーンにお住まいの方ちゅうのは自分がその地域に住んでるちゅうことは大体分かっておられる方多かったんですけども、今回の災害で本当にそういった状況にあるんだということ、多分、自分自身の問題としてですね、捉えられてるんですが、そういった方々に対しての住民説明会とか、あるいは、個別に対応されるのか、そういったところの方法についてはどのようにされるのか、ちょっとお伺いしたいんですけど。

○土木課長（小原聖児君） 土木課長の小原でございます。

ただいまの御質問は周知活動ということで捉えさせていただきたいと思います。（委員橋本隆一君「そうですね」と呼ぶ）

まずはですね、昨年度になりますけども、昨年の6月から8月にかけて、イエロー及びレッドゾーンの全世帯に対して、本日の委員会資料の10ページ目でございますけども、それを資料として現在お住まいの土地が該当する旨と、本事業概要の周知を全世帯に配布しております。これはまた被災後になりますけれども、11月の13日付でホームページのほうに、また、広報やつしろ12月号のほうに要綱の改正を行った旨の掲載をしております。次に、また、12月1日に循環社会推進課を通じまして、公費解体の世帯に対しまして要綱等の改正の資料の配布をいたしております。

個別に対しての説明会云々というのは今のところ考えておりません。

以上でございます。

○委員（橋本隆一君） 理解できました。

去年と今の状況はですね、やっぱり住民の方は意識ちゅうのは全然変わってきておられると思いますので、何か機会がありまして、例えば、区の代表の方だけでもですね、集めて何か説明されたらいいかなというふうには思いました。要望ではありません。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（橋本隆一君） はい。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

○委員（大倉裕一君） 今の事業に関連してですけれども、今回2件の負担金の申請が上がってるわけですが、時期からしまして、今年度あと3か月余りしかございませんので、恐らく繰越し、来年度の執行というような形になるのかと思いますが、その辺りの進捗状況と、この2件が追加になって、進捗率といいますか、どれぐらいになるのかというところをお聞かせいただいでよろしいでしょうか。

○土木課長（小原聖児君） お答えをいたします。

これまでですね、先ほど御説明しましたよう

に、ホームページ等云々で周知を図ったところでございますけども、これまでに今年度7月豪雨以降の問合せ件数としまして31件ございまして、その中で、坂本支所分が30件、泉支所分が1件となっております。これにつきましては、レッドゾーンの地区内かどうかというところの問合せも含めての数字でございます。

それから、実績という点でございますけれども、令和元年度に1件と令和2年度、今までにですね、この坂本の災害の被災を受けまして、3件というのが申請に至るところの数字でございます。

先ほど次長の説明でもありましたけども、2件につきましては、現在、もう県のほうへの申請中、1件につきましては市のほうへの申請の準備中ということになっております。

この事業につきましてはですね、移転先が決まってからの申請ということになっておりますので、今まで問合せ件数があつた中でうまく各被災者の方が考慮されまして、今後、申請のほうに向かっていくのかなということで考えております。

以上でございます。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（大倉裕一君） 分かりました。

それで、レッドゾーン域内の件数がどれだけあつて、今年度の現在の申請件数トータルで4件という形になると思うんですけど、それで進捗率が何%になるかということと、大体のスケジュールとして来年のいつ頃に予算が執行される、移転が決まってしまつてから補助金というのが支払われるんだと思いますけども、そこがめどというのが分かれば、いつぐらいというところのお示しをいただければと思います。

○土木課長（小原聖児君） まずは、1点目のレッドゾーンというのが坂本支所管内には575軒ございます。そのうちに、今回被災された家屋というのが、罹災証明書の発行件数で申し

上げますと422軒、そのうちレッドゾーン内というのが144軒、これが今回の事業の対象軒数となります。

そのうちで、令和2年度の方で申し上げますと、坂本町からですね、市内のほうに行くということで、3件の、今、問合せ中というか、申請の準備中って先ほど申し上げたとおりでございますが、何しろこの事業につきましては、予算の執行といいますのは、移転先が決まって、例えば、新築ということでありましたら家が完成してからということの申請になりますので、それからの予算執行ということになります。だから、ちょっと先方ですね、御都合もあるかと思っておりますので、その辺りが一応、今、受け付けておりますのは新築の予定ということでございますので、ちょっとその時期が今のところ未定となっております。

以上でございます。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

○委員（大倉裕一君） 都市計画費の街路事業費で、南部幹線道路整備事業についてのお尋ねになりますが、今回、負担金の追加ということでもあります。

市の担当区間のほうから先に施工していただいているというような状況で、全線開通というのが待ち望まれるところなんですけれども、1工区の県の事業進捗状況というのはどういった状況になってるんでしょうか。

○都市整備課長（一美晋策君） ただいま委員のほうから御質問がありました南部幹線の現在の進捗状況ということで、南部幹線につきましては、1工区、2工区、3工区ということで工区分けをして施工しております。

現在、県のほうで行われておりますのが前川付近の1工区ということで、1工区につきましては、現在、進捗として、事業費ベースではございますが、昨年令和元年度末で11%、令和

2年度末で見込みとして約22%に進捗が図られるということでお聞きしております。

以上、お答えいたします。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

○委員（大倉裕一君） 災害復旧費のところでお尋ねをしたいと思います。

大変な被害が出ておりました、土木課のほうも部を挙げて鋭意取組を進めていただいているというふうには思っております。災害がかなり状況として大きな災害ということで、日数もかかるのかなという思いは理解してるところですけども、先ほどありました、市道鎌瀬・瀬戸石線、こちらの復旧の見込みといいますか、いつぐらいの復旧を見込んでいらっしゃるのかというところをお聞かせいただきたいと思っております。

○土木課長（小原聖児君） 災害復旧の見通しでございますけども、権限代行の区間ですね、これにつきましては、今年度のものが、今、応急復旧と調査・設計ということになっておまして、今、国のほうで応急復旧のほうの工事にも着手されております。

完了予定としてはちょっと伺っておりませんが、災害復旧につきましては3年以内ということになっておりますので、それよりも早くなるということでは考えております。

以上、お答えいたします。

○委員長（増田一喜君） いいですか。

○委員（大倉裕一君） 3年以内には竣工予定ということでお伺いしておきたいと思っております。またお尋ねを随時していきたいとは思っておりますが、委員長に御相談なんですけども、災害復旧の、今回は予算が上がってないんですけども、災害を受けたところのことに関して質問をしてよろしいですか。

○委員長（増田一喜君） 災害を受けたところ。

○委員（大倉裕一君） 受けた、例えば、二見地域のことをどういうふうにも復旧していこうと

思っていらっしゃるのかとか。

○委員長（増田一喜君） 一応議案に出てるところだけにしてください。

○委員（大倉裕一君） だけ。

○委員長（増田一喜君） はい。それは個別に聞いていただければと思います。

○委員（大倉裕一君） 例えば、市道市ノ俣線ですかね、まだ開通していないところとか、そういったのも駄目ということですね。分かりました。

○委員長（増田一喜君） 一応、はい。審議はこの議案についてですから。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） 以上で質疑を終了します。

意見がありましたらお願いいたします。意見はありませんか。

○委員（大倉裕一君） 災害復旧の関係で、意見と申しますか要望という形になると思いますけれども、ライフラインと申しますか、インフラの整備ですね、こちらの取組のほう、国、県、そして、市のほうと分担して取り組んでいただいているというふうに申しますけれども、安全な施工の中で一日も早い復旧をですね、地域住民の方は望んでいらっしゃると思いますので、その点をよろしく願いしておきたいというふうに申します。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） ないようです。

それでは、これより採決いたします。

議案第114号・令和2年度八代市一般会計補正予算・第12号中、当委員会関係分については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（増田一喜君） 挙手全員と認め、本

案は原案のとおり可決されました。

執行部入れ替わりのため、小会いたします。

（午前10時26分 小会）

（午前10時27分 本会）

◎議案第122号・令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第2号

○委員長（増田一喜君） 本会に戻します。

次に、議案第122号・令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第2号についてを議題とし、建設部より説明願います。

○下水道総務課長（奥村勝己君） 下水道総務課の奥村です。よろしく申し上げます。

着座にて説明させていただきます。

○委員長（増田一喜君） はい、どうぞ。

○下水道総務課長（奥村勝己君） 議案第122号・令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第2号について説明いたします。

別冊になっております八代市下水道事業会計補正予算書・第2号をお願いいたします。

今回の補正の内容は、令和3年4月より業務を開始する必要があります契約案件について、予算執行の事前準備として、新年度前に事務処理を行えるように、債務負担行為の設定のみを行うものです。

それでは、補正予算書の1ページをお願いいたします。

第2条に、債務負担行為を追加設定としまして、2つの事項を設定するものです。

まず1つ目の水処理センター水質分析業務委託は、期間を令和2年度から令和3年度、限度額を105万円としております。

2つ目の公共樹設置工事経費は、期間を令和2年度から令和3年度、限度額を605万2万3000円としております。

3ページ以降は債務負担行為に関する調書でございますので、説明を省略させていただきます。

以上で、議案第122号・令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第2号の説明を終わります。御審議のほど、よろしく願います。

○委員長（増田一喜君） それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（福嶋安徳君） この水質分析ちゅうのはどの程度の分析になつとですか。何種類か幾つか分けて分析しなつと。

○下水道建設課長（涌田直美君） 今、御質問ですけど、流入水につきましては40項目を調査して、毎月1回ということで、年12回をやっております。

放流水につきましては42項目、こちらも年12回ほどやっております。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（福嶋安徳君） 何ちゅうか、40項目というのが大まかに言うてどういった、細菌とか何とかそういったものを調査すると。

○下水道建設課長（涌田直美君） まず、流入水につきましては、総窒素含有率とかですね、有機態窒素というのと硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素とアンモニア性窒素と亜硝酸性窒素ということですね、あと、リンの含有量というのが大まかにありまして、細かいのもいっぱいありますけど、40項目ということで。

放流水につきましては大腸菌とかですね、そういうのを調べております。（委員福嶋安徳君「分かりました」と呼ぶ）

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

○委員（大倉裕一君） 公共ます設置工事の概要をお尋ねいたします。

○下水道建設課長（涌田直美君） 汚水ますにつきましては、下水道の本管が設置されたところですね、新たに新築とかあったときに、つなぎ込みのための汚水ますを設置する工事でございます。

○委員（大倉裕一君） 限度額が6050万円

ですかね、ああ、6050万円か、程度でありますけれども、これの積算根拠って何軒くらいの見込みでこれだけ計上されとるんでしょうか。

○下水道建設課長（涌田直美君） 今回、令和3年度に予定してます箇所数は大体140か所を想定しております。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（大倉裕一君） はい。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） 以上で質疑を終了します。

意見がありましたらお願いいたします。

○委員（大倉裕一君） 議案に対してというよりも、説明に対して意見を述べさせていただきたいと思いますが、少しですね、不親切というような説明ではなかったかなというふうに思います。せめて、今、質問でお尋ねにあった内容程度ですね、説明は加えていただければと思いますので、よろしく御配慮をお願いしたいと思います。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） ほかにないようでございます。

これより採決いたします。

議案第122号・令和2年度八代市下水道事業会計補正予算・第2号については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（増田一喜君） 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

執行部入れ替わりのため、小会いたします。

（午前10時33分 小会）

（午前10時34分 本会）

○議案第124号・契約の締結について

○委員長（増田一喜君） 本会に戻します。

次に、事件議案の審査に入ります。

議案第124号・契約の締結についてを議題とし、説明を求めます。

○新庁舎建設課長（豊田浩市郎君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）新庁舎建設課の豊田でございます。

私のほうからは、配付してあります資料、議案第124号・契約の締結についてについて、資料に基づき工事の概要について説明いたします。

着座にて説明いたします。

配付してあります資料の表紙の次のページをお願いします。

1、工事関係について説明いたします。

工事概要説明書。番号、令和2年度新竣工第1号。件名、八代市新庁舎電気付帯工事。住所、八代市松江城町1-25。仮契約の相手方、ユーテックス・上田電気商会・八光電業建設工事共同企業体。仮契約金額、2億4640万円。仮契約予定工期、議決日から令和3年10月29日。工事の目的、新庁舎建設に伴う映像音響設備等を配置するもの。工事の概要、議場システム一式、会議室用音響設備一式、機械警備用配管一式、無停電電源装置一式、その他電気付帯工事一式となっております。

次のページをお願いします。

議場の設備について御説明いたします。

中央の図面が議場の平面図となっております。各設備については色別に表示しております。

新庁舎における議場の規模としては、床面積299.28平方メートル、傍聴席の座席数は、一般席42席、記者席8席、車椅子席2席、親子連れでも気軽に議会を傍聴できるように専用の親子席を2席、合計で54席となっております。

次に、工事の内容について説明いたします。

赤色で着色してあります各議席及び各執行部

席には個別マイクを設置しております。加えて、議席には投票ボタンを設置することにしており、電子投票への対応を行えるようにしております。議長席には、議事進行を円滑に行うため、議長優先ボタンや発言残時間用モニターを設置しております。緑色に表示してあります箇所には大画面モニターを設置し、出席議員数や残時間、電子投票の集計等が表示できるようにしております。その他、傍聴席や親子席内には議場内の音声を補完するための天井スピーカー、発言者マイクスイッチに連動するプリセットカメラを設置しております。また、難聴者の傍聴対策として、傍聴席に磁気ループコイルを設置しております。

次のページをお願いします。

委員会室について説明いたします。

委員会室には、旧庁舎と同様、2室計画しています。2委員会室が同時開催可能な計画としております。部屋の規模としては、執行部が20名、机付きで着席できるように計画しています。委員会室における主要な設備は、各委員席にマイクスピーカー、各委員及び部屋全体を撮影可能なHDカメラ、会議音声やプロジェクター使用時の音声拡張のためのスピーカーを天井に設けております。また、現在はバックアップ用としてICレコーダーで録音を行っておりますが、今回、バックアップ用として集音マイクを設け、委員会室全体の音声を録音できるようにしております。また、移動式プロジェクターを用意し、必要に応じ、資料の投影等をできるようにしております。

なお、議場及び委員会室においては、現在のシステムと同様、ライブ配信中継が可能となっております。

次のページをお願いします。

全員協議会室兼控室について説明いたします。

全員協議会兼控室については、旧庁舎と同様、打合せ等がしやすい机の配置としておりますが、

配置はフレキシブルに計画できるようにしております。全員協議会兼控室には、会議用の諸設備のほか、情報収集のための液晶テレビや議会議中継を視聴可能なディスプレイを設置することにしております。

次に、会議室用音響設備については、次の5ページから9ページの平面図に記載しております50平米以上の会議室、1階、2階の市民活用エリアの諸室に会議室等の利便性のためのワイヤレスマイク、アンプ、天井スピーカーを設置する計画としております。

以上で工事に関する説明を終わります。

○契約検査課長（岩瀬隆敏君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）契約検査課、岩瀬でございます。

工事の概要に引き続きまして、入札、契約に関しまして御説明いたします。

失礼しまして着座にて説明いたします。

○委員長（増田一喜君） どうぞ。

○契約検査課長（岩瀬隆敏君） それでは、引き続きまして資料の10ページになりますが、御説明いたします。

入札、契約に関しまして御説明いたします。

まず、1点目、競争入札に関する事項としましては、本工事は制限付一般競争入札を実施する旨、令和2年10月5日に公告いたしております。

本市では、設計金額が2500万円以上の建設工事につきましては、原則、制限付一般競争入札を行うこととしております。

次に、2つ目、競争入札に参加する者に必要な資格としましては、共同企業体の構成員の欄で、2者または3者で構成される建設工事共同企業体であることとしております。

本市では、設計金額が3000万円以上の電気工事につきましては、原則、2者または3者で構成される建設工事共同企業体方式を採用しております。

格付等級または経営事項審査の総合評定値の欄ですが、代表構成員は、八代市競争入札参加資格における電気工事の格付がA級であること、構成員2及び3は、八代市競争入札参加資格における電気工事の格付がAまたはB級であること、また、営業所の所在地は、八代市内に営業所を有する者としております。

その下、施工実績に関する事項では、平成18年度以降、元請として、県内で完成した公共工事の電気工事の施工実績があること、また、共同企業体の場合は出資比率が20%以上のものとしております。

この表の中段以降の部分、配置予定技術者に関する事項につきましては、資格等の欄で、電気工事に関して、建設業法に基づく主任技術者または監理技術者資格者証を有する者などを条件としております。

次に、その下、3つ目の開札及び結果でございますが、10月26日に開札しましたところ、入札には、表に示しました3つの建設工事共同企業体に参加しております。この結果、株式会社ユーテックスを代表構成員とするユーテックス・上田電気商会・八光電業建設工事共同企業体が入札価格、税抜きで2億2400万円で落札いたしました。予定価格が税抜き2億2438万7000円、予定価格はそういった金額です。落札率は99.83%となります。

これによりまして、消費税を加算した2億4640万円の契約金額で、11月4日に仮契約を締結したところでございます。

以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしく願いいたします。

○委員長（増田一喜君） それでは、以上の部分について質疑を行います。当委員会においては本契約の締結部分を審議するものでございますので、それ以外に関する質疑は配慮方お願いいたします。質疑ありませんか。

○委員（大倉裕一君） まず、システムのこと

でお尋ねになつとですけど、このシステムがこの予定価格っていうとに跳ね返ってきてると思うんですが、議場に導入されるシステム装置、誰と相談をされて決められたんでしょうか。

○新庁舎建設課長（豊田浩市郎君） 議会事務局と相談いたしました。相談して決定というか、決めました。

その前に、その後、今年の3月ですかね、全員協議会の中で、この議場用の設備ということで御説明はしたかと思います。全議員さんに対してですね。

以上です。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（大倉裕一君） それから、時期的な入札を考えますと、コロナ禍であって、豪雨災害後の発注という形になっておりますけれども、もともとの設計価格とこの予定価格というところに差があるのかどうか。逆に言いますと、費用を削減された部分というのがあるのかどうか、その点についてお聞かせください。

○新庁舎建設課長（豊田浩市郎君） 今回の発注には無線LANまで発注するつもりでした。ところが、今回のコロナ禍の影響で、ネットワーク機器類がちょっと値上がりとかやっていますね、ちょっと、今、調整がつかなかったものから、このネットワーク関係の調整機器は抜いて発注しております。

以上です。

○委員（大倉裕一君） その無線LANの分、附属品も含めてですけれども、関係の額としてはどれぐらいを差額が出たんでしょうか。

○新庁舎建設課新庁舎建設係参事（荒田政敏君） 新庁舎建設課の荒田です。よろしく申し上げます。

先ほどお尋ねの差額の方でございますけれども、無線LAN関係のほうで2500万円ほど減額をして発注を行っております。

以上です。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（大倉裕一君） あと、お答えができる範囲で構わないんですけども、この後の新庁舎建設としての発注予定というところが分かれば、件名等で御紹介いただければと思います。

○委員長（増田一喜君） 答えられますか。誰が答える。

○新庁舎建設課長（豊田浩市郎君） すみません、金額自体はちょっと御容赦願いたいんですけど、この後、工事を発注予定というのは外構工事と造作家具工事とサイン関係の工事っていうのがメインとなっています。

○委員（大倉裕一君） すみません。外構と何ておっしゃったですか。挙手してもう1回お願いできますか。すみません。

○新庁舎建設課長（豊田浩市郎君） 外構工事と造作家具工事、議場の議席とか、あと、受付窓口のカウンター関係をいってます。それとあと、サイン関係です。（委員大倉裕一君「サイン」と呼ぶ）サインというのは、結局、（委員大倉裕一君「あ、誘導サインてこと」と呼ぶ）サイン工事の内部と外部のサイン工事が発注と、あと、工事じゃないんですけど、あと、備品です。机とか椅子とかを発注予定にしております。大きくはそのぐらいです。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） ないようです。以上で質疑を終了します。

意見がありましたらお願いいたします。意見ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） なければ、これより採決いたします。

議案第124号・契約の締結については、可決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（増田一喜君） 挙手全員と認め、本案は可決されました。

執行部入れ替わりのために、小会いたします。

（午前10時50分 小会）

（午前10時51分 本会）

◎議案第131号・八代市公共下水道事業（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正について

○委員長（増田一喜君） 本会に戻します。

次に、条例議案の審査に入ります。

議案第131号・八代市公共下水道事業（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正についてを議題とし、説明を求めます。

○下水道総務課長（奥村勝己君） 下水道総務課長の奥村です。

着座にて説明させていただきます。

説明に入ります前に、お手元の資料の差し替えをお願いいたします。前回お配りした資料の4番目、改正要旨の（1）利子税特例基準割合の部分について、利子税は国税でございますので誤って記載しておりました。申し訳ございませんが、正しい資料に差し替えをお願いいたします。

それでは、説明に入らせていただきます。

○委員長（増田一喜君） はい。

○下水道総務課長（奥村勝己君） 議案第131号・八代市公共下水道（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正について、お手元の資料を基に御説明いたします。

まず初めに、下水道事業の受益者負担につきましては、都市計画法に基づき、条例で延滞金

の割合を定めておりますが、国の通達により、税外収入に係る延滞金は地方税法の規定による税の延滞金の額との均衡を失しないよう措置することが適当であるとされておりますことから、地方税法に準じて取扱いを行なっております。

改正理由につきましては、本年3月31日の地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもので、施行期日は地方税法の関係部分の施行に合わせ、令和3年1月1日とするものでございます。

改正内容につきましては、資料の4番目、改正要旨を御覧下さい。

まず、1点目が、地方税法の一部改正により、延滞金の計算に関する特例基準割合が延滞金特例基準割合に名称が改正されたこと。2点目が、延滞金特例基準割合の計算の前提となります市中銀行の金利を基に財務大臣が告示する割合のことが、新たに平均貸付割合と名称が規定されたことに伴い、条例中の該当する部分を改正後の地方税法の名称に合わせるものです。

特例基準割合と延滞金特例基準割合及び平均貸付割合の具体的な内容につきましては、資料の下段、特例基準割合及び延滞金特例基準割合の定義にお示ししておりますとおりでございます。

なお、今回の改正内容につきましては、資料の下から2番目、改正イメージにありますとおり、現行と比較した場合、延滞金の割合や計算式などに変更はなく、名称のみの改正となっております。

また、併せて八代市公共下水道（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例第8条第3号及び第9条第1号について、例規の規程上、通例の文言に改めるものでございます。

以上で議案第131号の説明を終わります。御審議よろしくお願いいたします。

○委員長（増田一喜君） それでは、以上の部

分について質疑を行います。質疑ありませんか。ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(増田一喜君) 以上で質疑を終了します。

意見がありましたらお願いいたします。ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(増田一喜君) ないようです。

これより採決いたします。

議案第131号・八代市公共下水道事業(八代処理区・八代東部処理区)受益者負担及び受益者分担に関する条例及び八代市都市計画下水道事業(鏡処理区)受益者負担に関する条例の一部改正については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

○委員長(増田一喜君) 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

執行部は退室願います。

(執行部 退席)

○委員長(増田一喜君) 小会いたします。

(午前10時57分 小会)

(午前10時58分 本会)

○委員長(増田一喜君) 本会に戻します。

執行部より発言の申し出がっておりますので、これを許します。どうぞ。

○契約検査課長(岩瀬隆敏君) 契約検査課の岩瀬でございます。

着座にて失礼しまして、着座にて説明いたします。

○委員長(増田一喜君) はい。

○契約検査課長(岩瀬隆敏君) 先ほど議案第124号・契約の締結について御審議いただいたところですが、私の発言の中で一部誤って発言していた部分がありましたので、訂正をいたしたいと思います。

訂正の部分としましては、先ほど資料に基づいて御説明しておりましたが、資料の10ページの説明の中で、1つ目のところですね、1項目目、競争入札に関する事項の説明の中で、附属的な説明といたしまして、本市では契約金額が2億5000万円以上の建設工事については、原則、制限付一般競争入札を行うこととしておりますというふうな発言をいたしました。その2億5000万円というのが誤りでございまして、設計金額が2500万円の建設工事につきましては、原則、制限付一般競争入札をしておりますというものでございます。その部分を訂正させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○委員長(増田一喜君) 以上。

ということでございますので、皆さん、御了解願いたいと思います。

小会いたします。

○委員長(増田一喜君) 小会いたします。

(午前11時00分 小会)

(午前11時02分 本会)

○委員長(増田一喜君) 本会に戻します。

次に、本委員会に付託となっている請願・陳情はありませんが、郵送にて届いております要望書については、写しをお手元に配付しておりますので、御一読いただければと存じます。

以上で、付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(増田一喜君) 御異議なしと認め、そのように決しました。

小会いたします。

(午前11時03分 小会)

(午前11時04分 本会)

◎所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査

○委員長（増田一喜君） 本会に戻します。

次に、当委員会の所管事務調査2件を一括議題とし、調査を進めます。

当委員会の所管事務調査は、都市計画・建設工事に関する諸問題の調査、生活環境に関する諸問題の調査、以上の2件です。

このうち、都市計画・建設工事に関する諸問題の調査に関連して1件、執行部から発言の申出がっておりますので、これを許します。

-
- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
(下水道主要事業の契約締結と進捗状況について)

○委員長（増田一喜君） それでは、まず、下水道主要事業の契約締結と進捗状況についてをお願いいたします。

○下水道建設課長（涌田直美君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）下水道建設課長の涌田でございます。

着座にて説明をさせていただきます。

○委員長（増田一喜君） はい。

○下水道建設課長（涌田直美君） 資料は、別冊、令和2年12月建設環境委員会所管事務調査、下水道主要事業の契約締結と進捗状況についてでございます。お手元でございますでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

本市の下水道事業は、公共用水域の水質保全、生活環境の改善、浸水の軽減を目的とし、市民の安全安心の確保に寄与できるよう、鋭意事業を実施しております。

それでは、下水道主要事業の契約締結と進捗状況について御報告させていただきます。

1ページをめくっていただき、資料1を御覧ください。

今回の浸水対策事業工事場所の位置図になります。

北部中央雨水調整池整備工事については、右上部の田中西町にある北部中央公園のグラウンド地下に調整池を整備する事業となります。また、後から説明いたします中央ポンプ場改築工事については、図面左下部にあります中央ポンプ場の改築更新を行なうものでございます。

1ページめくっていただきまして、資料2を御覧ください。

それでは、北部中央雨水調整池整備工事の進捗状況について説明いたします。

まず、工事概要としましては、近年、田中西町の北部中央公園周辺において、梅雨時期等の集中豪雨により浸水被害が度々発生しており、市民の日常生活や生活活動の妨げとなっております。また、平成24年7月に時間最大73ミリの豪雨を記録した際、田中西町、田中東町周辺で約50ヘクタールの浸水被害が発生しております。

そこで、本工事は浸水被害の軽減を目的として、集中豪雨発生時に一時的に雨水を貯留する施設である雨水調整池を北部中央公園グラウンド地下に整備するものです。

工期は平成30年11月19日から令和3年2月26日とし、契約金額は当初税込みで12億9600万円でしたが、コンクリートがらの処分と掘削残土の運搬距離の変更等により1311万5300円増額し、13億911万5300円となっております。

工期につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止や7月豪雨災害により作業員の確保ができなかったことから、工事進捗が図れず、5月末まで工期を延長する予定でございます。

現在の工事進捗としましては、調整池の底版コンクリートが完了し、側壁と柱部の施工を行っている状況で、進捗率は11月末現在で約77%です。

次に、資料3を御覧ください。

現在施工中の調整池の平面図になります。

1枚めくっていただきまして、資料4を御覧ください。施設の断面図になります。

現在、完了している部分が灰色にて着色しております。底版コンクリートと側壁の中段まで完了しております。

資料5を御覧ください。上段2枚の写真が土留め掘削工事の完了状況です。昨年11月から今年の6月まで施工を行なっております。下段2枚の写真は底版コンクリートの打設状況と中柱の配筋状況です。9月から施工を行なっております。

1ページめくっていただきまして、2枚の写真は、11月から開始いたしました側壁部の配筋及びコンクリートの打設状況の写真でございます。工程表のとおり、底版コンクリート、側壁の一部まで完了しており、現在は、調整池本体の側壁の上部及び柱部の工事を行っているところで、今年度は丁版部、上の部分まで完了する予定でございます。

次に、資料7を御覧ください。この図は完成したイメージの図になります。

1枚めくっていただきまして、資料8を御覧ください。

中央ポンプ場の改築工事につきましては、平成29年度から令和元年度まで実施しました第1期工事、第2期工事の概要となります。

資料9を御覧ください。3の中央ポンプ場改築工事委託（第3期）の協定締結についてでございます。

第3期工事につきましても令和元年度より日本下水道事業団と協定を締結しており、協定期間は令和元年10月4日より令和3年3月31日とし、協定金額としましては1億5200万円としております。

協定の内容といたしましては、No.1の口径1500ミリメートルポンプ用エンジンを更

新し、さらに、エンジン制御用電気設備についても同時に更新するものです。第3期工事につきましては今年度未完了予定でございます。

続きまして、4、中央ポンプ場改築工事委託第4期協定締結についてでございます。

第4期工事につきましては、第3期工事と同様になりますが、No.2の口径1500ミリメートルポンプ用エンジンを更新するものです。

第4期工事につきましては令和2年度より日本下水道事業団と協定を締結しており、協定期間は令和2年6月15日より令和4年3月31日とし、協定金額としましては3億4400万円としております。

資料10を御覧ください。

第1期工事の建築工事の写真でございます。上段に着工前写真、下段に完成写真を並べております。

資料11を御覧ください。こちらは電気設備工事及び機械設備工事で、上段に着工前写真、下段に完成写真を並べております。

資料12を御覧ください。第2期工事の状況写真でございます。左上より、口径1800ミリメートルのポンプ用エンジンの現場操作盤製作状況です。その右側が各エンジンポンプを運転する際に必要となる補機類の現場操作盤となります。左下及びその右側の写真が製作した現場操作盤の搬入・据付け状況でございます。右側上下2枚の写真は、機械設備工事で設置した仮設ポンプを運転する際に必要となる仮設操作盤と仮設発電機の設置状況でございます。

資料13を御覧ください。左上より、口径1800ミリメートルポンプ用エンジン更新状況です。その右に2枚、撤去完了までの写真が続きます。上段右側及び下段真ん中の写真は、撤去した口径1800ミリメートルポンプ用旧エンジンに代わり、雨水を排水することを目的とした仮設ポンプの設置状況です。下段左は、口径1800ミリメートルポンプ用新エンジンの

試験運転状況です。

次に、資料14を御覧ください。第3期工事の状況写真です。

左上より、口径1500ミリメートルポンプ用エンジン更新状況です。その右に2枚、撤去完了までの写真が続きます。下段左は、口径1500ミリメートルポンプ用新エンジンの試験運転状況です。

次に、資料15を御覧ください。現在の改築工事スケジュール及び契約状況をまとめたものです。

続きまして、八代市水処理センター増設工事について御説明いたします。

資料16を御覧ください。現在下水道事業計画区域を示したものです。

平成29年度に宮地処理系統の一部、71ヘクタールを拡張いたしまして、鋭意、污水管の整備工事を実施しておりますが、污水处理人口の増加に伴いまして、令和3年度に水処理センター処理能力を超える污水が流入する見込みであり、水処理施設を増設するものです。

それでは、資料17を御覧ください。事業概要について御説明いたします。

今回施設の増設を行います八代市水処理センターは、昭和60年に供用開始し、約34年が経過しております。下水道の普及によりまして、年々流入汚水量が増加し、令和3年度には現有施設能力である1日当たり2万400立方メートルを超過する見込みとなっております。

そこで、2か年にわたりまして、7100立方メートルの処理施設を増設し、処理能力を1日当たり2万400立方メートルから2万7500立方メートルまで引き上げることとしております。

その増設工事に当たりましては、日本下水道事業団と協定を締結しておりまして、協定期間は令和元年10月4日から令和3年3月31日とし、協定金額としまして4億3700万円で

したが、入札差金が生じ、4億1641万円としており、今年度未完了する見込みでございます。

協定の内容といたしましては、反応タンク及び最終沈殿池に設置します機械設備、反応タンク内の微生物の量を監視する機器やタンク内の酸素濃度等を監視いたします測定機器類、さらに、管理棟内にあります処理場内の全機器類の運転状況を監視します中央監視装置などの電気設備を増設するものです。

資料18を御覧ください。各設備の工事範囲を記したものを添付しております。

最後に、資料19を御覧ください。現在の水処理センターの状況写真になります。

左上より、最終沈殿池の作業状況、上段中が最終沈殿池の内部、右上が反応タンクの内部の写真です。左下が汚泥かき寄せ機の操作盤になります。

最後になりますが、北部中央雨水調整池整備工事、中央ポンプ場改築工事、八代市水処理センター増設工事は、浸水対策事業及び污水处理事業として重要な工事です。それぞれの工事を安全に進めるとともに、予定された供用開始に間に合うよう、工事管理を万全に行いながら事業を進めてまいります。

以上で、下水道主要事業の契約締結と進捗状況について御報告を終わらせていただきます。よろしく御願いたします。

○委員長（増田一喜君） では、本件について、何か質問、御意見等はありませんか。

○委員（橋本隆一君） 確認させていただきたいんですが、北部中央雨水調整池のですね、基本的なことではちょっと分からないんですが、水量はどれくらいの水量をためることができるのかということ、それが最大の中での洪水が発生した場合にそれをカバーできるのかということ、そこをちょっと、一市民としても気になる場所ですので、よかったですらお願いし

ます。

○下水道建設課長（涌田直美君） 雨水量につきましては、量としては7100立方メートルを予定しております、時間最大で53ミリでやっておりますので、2時間程度で満杯になるということで考えております。

○委員（橋本隆一君） ありがとうございます。

失礼ですが、そのことによってこれまで発生したようなそういう浸水とかですね、肥後銀行田中町支店の前、いつもつかりよったんですけど、その辺が改善できるっていう見通しで、されるんだと思うんですけど、それが完全に改善できるのかってちょっと気になるところなんです、それは大丈夫ですかね。

○下水道建設課長（涌田直美君） こちらにつきましては、下水道でいます古閑排水区ということで区域を設定しております、将来はですね、都市計画として、下水道事業として6か所調整池と貯留管を計画しております、まず1発目でこの北部中央雨水調整池を造っております、将来はまだあと何か所か造る計画があります。

○委員（橋本隆一君） 理解できました。

ちょうど同じ地区の方から、どやんなってだろかという御相談があったものですからお尋ねしました。ありがとうございました。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

○委員（高山正夫君） 同じく北部中央雨水調整池についてですが、工期延長ちゅうことで、来年の5月末ということなんですけども、これは5月末、竣工と同時にもう稼働もできるということによろしいんでしょうか。

○下水道建設課長（涌田直美君） 今現在、土木工事のほうを5月末ということで考えておりますけど、これに付随します機械、電気とかですね、そういうのも発注しております。土木工事が終わった後、機械とか電気設備を入れますので、5月末よりも若干ちょっと遅れるのかな

と。目安としては、来年の梅雨時期がいつになるかちょっと分かりませんが、それまでに間に合えばなということで、今現在進めているところでございます。

○委員長（増田一喜君） よろしいですか。

○委員（高山正夫君） 了解しました。

一応私もちょっと、梅雨時期に入るですね、それまでは工事延長がないようにですね、急いで工事をやっていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（増田一喜君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） ないようです。

以上で、下水道主要事業の契約締結と進捗状況についてを終了します。

そのほか、当委員会の所管事務調査について何かありませんか。

○委員（大倉裕一君） 豪雨災害で災害を受けた現場の視察ということでお願いをしたいと思うんですけど、この前、議会のほうの対策部が立ち上がっている期間内で建設環境部会というような形で視察には行ったんですけども、そのほかの災害現場、例えば、市道市ノ俣線とか報告が、年内には仮復旧ができそうなのかなですね、報告も地元のほうでは出るようです。そういったところの説明を聞いたり、また、二見の校区のほうでも河川氾濫によって被害が出ている箇所が多数ありました。その河川の土砂の撤去の計画とか、そういったところのお考えをですね、執行部のほうからお聞きすることが必要ではないかというふうに思いますので、その点について所管事務調査ということでお願いできればというふうに思っております。

○委員長（増田一喜君） 小会いたします。

（午前11時23分 小会）

（午前11時28分 本会）

○委員長（増田一喜君） 本会に戻します。

大倉委員のほうから豪雨災害の被災地を視察したいという御要望でございますが、皆さんの御意見はいかがですか。

○委員（福嶋安徳君） できればですね、執行部あたりが調査をしていただいて、委員長、副委員長でいろいろ協議したり、ああいうふうには、調査できるところを、先ほど市道市ノ俣線とか二見校区とか出ましたけど、そういったところを含めてできれば調査をさせていただければなと思います。

○委員長（増田一喜君） それでは、正副委員長のほうで担当課と打合せいたしまして、大体1日で終われるような行程を組んでみたいと思いますので、それでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） 時期的にも年度内でしょうけれども、年明けてから1月くらいを予定したいと思いますが、それでよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） それでは、そのようにいたしたいと思います。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） ないようです。

以上で所管事務調査2件についての調査を終了いたします。

次に、閉会中の継続審査及び調査の件についてお諮りいたします。

当委員会の所管事務調査2件については、なお調査を要すると思いますので、引き続き、閉会中の継続調査の申し出をいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（増田一喜君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって、建設環境委員会を散会いたし

ます。

（午前11時30分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和2年12月14日

建設環境委員会

委員長